



議会だより

# ピツシリ

第99号

2016年

7月27日

発行



報告、条例改正、補正予算 【定例会】...P2

・これからの商工業と小規模企業振興

・羽幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略に  
おける・若者への支援を

・国民健康保険事業の現状と広域化 【一般質問】...P3~5

港湾関連施設の視察・稚内視察（除雪関係）

除排雪業務・焼尻めん羊事業

ミックス処理の現状・産業廃棄物処理

学校給食センター運営 【常任委員会報告】...P6~7

【特別委員会・臨時会報告】...P8

## お神輿ワッショイ

雨の降る中、元気に神輿を担ぐ子ども達  
(7月10日撮影)

ぜひ議会の傍聴にお越しください

次回の定例会は **9** 月です

■発行：北海道羽幌町議会 ■編集：議会広報特別委員会  
北海道苫前郡羽幌町南町1番地の1

議会事務局 TEL (0164) 68-7011 FAX (0164) 62-1278

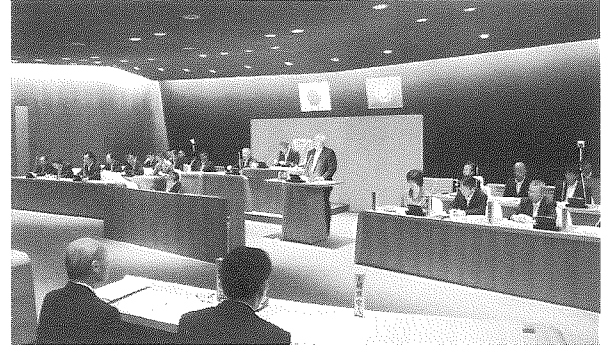
◎報告－2件 ◎議案－10件

◎発議－2件

◎一般質問－3名（3件）

# 第5回定例会

平成28年6月16日～17日



【焼尻・天売島内 児童・生徒・学級数】

学年	1	2	3	4	5	6	計	
天売小	児童数	3	3	1	-	1	9	
	学級数	1	1	-	-	1	3	
焼尻小	児童数	2	-	1	-	-	3	
	学級数	1	1	-	-	-	1	
天売中	生徒数	4	2	1	/			7
	学級数	1	1	-				2
焼尻中	生徒数	-	1	-				1
	学級数	-	1	-				1
天売高	生徒数	3	-	2				5
	学級数	1	-	1				2



## 第1次定期監査

町監査委員により5月24日から25日まで、財政に関する事務の執行を関係書類・帳簿等で内容を確認し、関係職員からの聞き取りにより実施。監査対象は、焼尻支所、焼尻小・中学校、天売小・中学校、天売高等学校、天売支所。適正な執行に努められたと確認されたことが報告された。



## 一般会計補正予算

229.1万円

### 【主な補正内容】

- ・町有施設解体委託料（旧幌北小学校教員住宅） 39.3万円
- ・空き家対策補助金（4軒↓20軒） 80.0万円



## 各委員会の継続調査 議員の派遣

- ・【総務産業常任委員会】
- ・離島視察（めん羊牧場など）
- ・朝日公園、はほろバラ園、オロちゃんランドの管理状況
- ・水道事業の運営状況
- ・【文教厚生常任委員会】
- ・空き家対策
- ・住宅マスタープラン
- ・ミックス事業
- ・羽幌小学校視察
- ・【議員の派遣】
- ・全道町村議会議員研修会
- ・議会広報研修会
- ・留萌管内町村議会議員研修会
- ・他



採決の結果、賛成多数で可決されました。

●反対討論 理解はできるが種畜は北海道が主導すべきで、計画も総合的に行うべきであり、価格も高額である。

●賛成討論 焼尻島では、大事な事業である。今後の安定運営の為であるが町民への説明は積極的に行っていくべき。

【討論】

●反対討論 理解はできるが種畜は北海道が主導すべきで、計画も総合的に行うべきであり、価格も高額である。

- ・実施設計委託料（天売教職員住宅） 72.0万円
- ・焼尻めん羊牧場指定管理料委託料（外国産めん羊導入） 30.0万円
- 価格はおス54万円（税別） 2頭、メス49万5千円（税別） 3頭で輸送料、保険、検疫等の諸費用を含む。

□物品購入契約の締結

ロータリ除雪車（900トン級）購入契約を締結した。

- ・契約先（有）羽幌自動車工業
- ・契約額 203.0万円
- ※契約予定価格が150.0万円を超えるため、議会の議決が必要となる。

阿部 和也 議員



問

# 地域の実態に合わせた 小規模企業振興策を！

答 制度改正等も検討しながら  
振興発展に努めていきたい

## これからの商工業と 小規模企業振興

【阿部】 羽幌町の商工業の多くは小規模企業ではあるが、地域経済の発展や雇用機会の創出とともに、地域住民の消費活動を支えてきた。

しかし、長らく続く景気の低迷や消費者の購買意識の変化により、商工業の現状は極めて厳しい状況となっている。

また、近年は経営者の高齢化が進行し、後継者、担い手の確保が困難となっており、円滑な事業承継や新たな人材による新陳代謝の促進、空き店舗の有効活用が求められている。これらは各自自治体が重視している「地方創生」にも通じる大きな課題でもあり、羽幌町も例外ではない。

地域の活性化を促すためにも、これからの商工業と小規模企業振興について以下の質問をする。

(1) 企業が抱える問題として後継者の不在や、経営の代替わりをする際にはさまざまな不安(資金、設備、店舗改修等)がある。町として商工業の後継者対策や事業承継をどのように考えているのか。

(2) 地域における新陳代謝の促進として新規創業・第二創業がある。

今後どのような取り組みを進めていくのか。

(3) 空き店舗の有効活用は、重点施策として考えていくとのことだが、どのような事業を考えているのか。

(4) 平成26年に小規模企業振興基本法が制定され、今年4月には北海道小規模企業振興条例が施行された。今後は地域の実態に合わせた施策が必要と思われる。小規模企業振興についてどう考えているのか。

【町長】 (1) 今後は、商工会や国の出先機関等とも連携し、専門家の派遣事業の活用等による既存事業者と承継希望者とのマッチングを促進するなど、事業者に対し、支援していきたくと考えている。

(2) 本年度は、創業に必要な基礎知識全般を身に付けるための創業塾を商工会の主催により10月に開催する予定であり、既存制度である創業補助金の活用促進と併せ、今後も地域の将来を担う創業者の掘り起しに取り組んでいきたいと考えている。

(3) 商工会が国の補助金を活用

し実施を予定している消費者ニーズ調査等の結果を踏まえ、町民の需要に応じた事業展開を予定している創業希望者の試験営業場所として、空き店舗を活用したチャレンジショップ等の事業実施についても検討していきたいと考えている。

(4) 地域経済についての確な状況把握に努め、その時々状況にあつた制度改正等も検討しながら、今後も商工業の振興発展に努めていきたいと考えている。

【阿部】 後継者のいない企業の事業承継については、親族外承継となるが非常にハードルが高いと思う。今後どのように取り組んでいくのか。

【商工観光課長】 承継に意欲があるところから聞き取りを行い、それに伴って募集をしてからのマッチングを考えている。

【阿部】 後継者に対しての支援や既存制度の見直し等は考えていないのか。

【商工観光課長】 町としても応援したいが、まずは後継者対策・事業承継に特化した支援制度とすることに対して理解が得られるか商工会に協議

検討してもらい、対応可能な支援策があれば、予算の関係もあるが前向きに検討したい。

【阿部】 新規創業等はUターン、Iターン施策として有効だと思いが、創業塾の受講者はどこまで周知するのか。

【商工観光課長】 新聞折り込みで、管内全域で考えている。

【阿部】 チャレンジショップについては、創業塾等に参加した方を対象にするのか、まずは空き店舗を活用したイベント等としての考えなのか、聞きたい。

【商工観光課長】 イベント等の短期間なものから、商工会の消費者ニーズ調査を踏まえ、出店を検討している方が行うチャレンジショップのような期間の長いものを、色々と織り交ぜながらやっていきたい。

【阿部】 既存の企業に対する支援もしつつ、後継者や新規創業者等に対しては、育てていく感覚が必要だと考える。改めて、今後の小規模企業振興について伺う。

【町長】 予算の関係もあり町単独では難しい面もあるが、商工会との話し合いの中で、どういった方向が良いか考えていきたい。

**問 今年度のウインターフェスティバルは**

**答 継続や代わる事業も含め検討する**

**問 独身男性にもっと出会いの機会への支援を**

**答 出会いのきっかけづくりを支援する**



村田 定人 議員

**若者への支援を**

【村田】羽幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略が27年度に策定された。中でも人口減少を食い止める事が、大きな目標である。今年度、町としても総合戦略に挙げている各施策に予算付けし、取り組みを行っている所ではあるが、まだ全てではない。特に若者施策が遅れていると思われ、若者への意向を的確に把握し、少しでも早く取り組んでほしい事業がある。

(1) 具体的な施策の中に、誰もが参加できる機会の創出があり、昨年度まで行われていたウインターフェスティバル、冬のイベントとしては大きな役割を担ってきたが、これに代わる新しいイベントを行う考えはあるか。また、行うとすればどのように取り進めていくのか。

(2) 出会いの機会への支援で、独身男性に対する出会いのきっかけづくりを支援するとあるが、今年度は予算付けされていない。これから、独身者の意向をどのようにとらえ、どう取り進めていくのか。

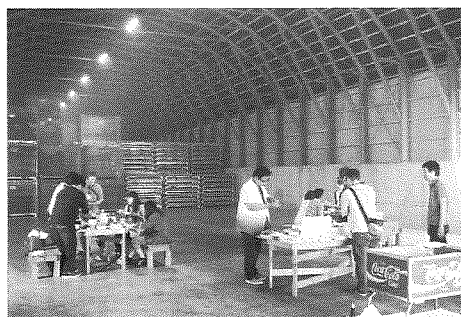
【教育長】ウインターフェスティバルは、「町民が雪に親し

み健全な心身を養い、町民相互の交流を通じて健康で明るい生活文化の向上と町の活性化を図る」ことを目的に開催され、今年の2月で27回目を迎えたが、ここ数年は、参加者の減少や馬そりの老朽化、また、開催から26年が経過し、事業の目的や対象が変わってきたなどの課題もある。事業の継続については、一旦、白紙に戻し新たに検討することとして、今年度については総合体育館の指定管理業務から除き、当初予算には計上せず、実施が明らかになった時点で、補正予算により対応することとした。また、今後における事業の検討については、今月下旬に関係団体などの代表者からなる「冬のイベント活性化検討会議」を設置し、ウインターフェスティバルの実施継続やこれに代わる事業の実施も含めて検討したい。教育委員会としては、町の活性化や地域のにぎわい創出を図るため、冬のイベント開催に向け取り組んでいきたいと考えており、検討結果により事業を実施する際は、町民主体の実行組織を立ち上げ準備を進めていきたい。

【町長】独身男性に対する支援について、総合戦略のなかで「出会いの場の提供事業」の具体的事業として「婚活関連事業に係る参加支援」をあげている。過去3年間の取り組みとしては、「羽幌町離島交流活性化推進協議会」の主催により「自然と食と体験の天売島婚活交流会」を2年間実施した。「羽幌町農業担い手確保対策協議会」の主催により「農業青年婚活交流会」を3年間実施しており補助をしてきたが、参加者が少なくなってきたことと事業後に行ったアンケート調査において、次年度以降の参加希望者がいなかったことから今年度は町内での単独事業は取りやめ、「町外からの農業担い手募集活動費」や「独身農業者の町外で行われる婚活パーティー等への参加費」補助を行うこととした。さらに北海道の補助事業により、管内8市町村と留萌市内の関連団体による「留萌管内結婚支援協議会」が昨年度に発足し、地元食材を利用しスूपカレー作りを通じてた出会いの場の創出事業を苦前町で行い、24名のうち本町から男性2名が参加した。今

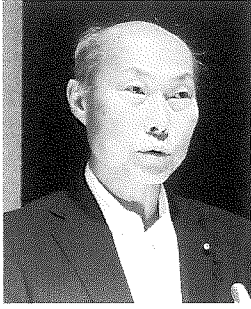
【村田】管内の出会いの場を創出する事業に参加するだけでなく、もっと婚活というイメージを弱くして気楽に参加できる楽しい催しができないものか。

【町民課長】管内の担当者が集まって色々な協議をしている所である。その中で若い人がどのような事を期待し、求めているのか話しあわれているので、その結果を踏まえて羽幌町としてどのような事を行っていけば良いのか検討課題としたい。



婚活交流会の様子

金木直文議員



問

国保基金の状況、見通しは

答 30年度までに不足した場合は一般会計からの充当を検討

国保事業の現状と広域化

【金木】平成30年度から都道府県に財政運営の責任主体を移行させる「国民健康保険の都道府県化」を行うこととしている。

国民健康保険は、他の協会けんぽなど公的医療保険に比べ、高齢者や低所得者層が多く加入しているという構造的な問題をかかえており、結果「高すぎる保険料」や財政悪化をまねく心配がされている。

羽幌町の現状を分析しながら、積極的に町民の命と健康を守る立場に立っていた、きたい。

(1)平成27年度における羽幌町の国保加入者の現状を、職業別構成、所得段階別構成、短期被保険者証と資格証明書の発行数、減免申請の状況、滞納世帯数と金額、及び差押え件数と金額など、どのような状況か。

(2)国保給付費支払準備基金の残高と今後の見通しはどうか。

(3)国保事業を広域化する目的概要はどうなっているのか。  
(4)広域化によって予想される弊害はないのか。広域化に向けたこれまでの取り組み状況と、弊害があるとすれば、そ

の対応など、どのように取り組んでいくのか。

【町長】(1)国保の加入者は、1440世帯、2367名で、職業別構成では、年金等その他所得31.4%、給与所得30.5%、所得なし18.7%、営業所得13.4%、農業所得6.0%となっている。所得段階別構成では、100万円以下802世帯・全体の56%、200万円以下306世帯21%、300万円以下120世帯8%、400万円以下67世帯5%、500万円以下26世帯2%、500万円を超える世帯119世帯8%となっている。

短期被保険者証は18件、資格証明書の交付はない。

減免申請はないが、後期高齢者医療制度が開始されたことにより、社会保険等の被扶養者であった者が国保に加入した場合の申請を不要とする旧被用者減免の対象者が4名おり、8万4800円減免している。

滞納世帯数は60件、滞納額は約1286万円、差押件数は11件、差押換価金額は10万9859円。  
(2)27年度末の基金残高は、約

7128万円。21年度以降は毎年財源補填のため取り崩しを行っている状況にあり、近年の状況を踏まえると30年度の都道府県移行までは厳しくも充た可能と思われるが、基金が不足する場合には、保険加入者の健康、医療の推進に鑑み、一般会計からの充当を検討している。

(3)目的は、都道府県が国の財政支援のもと国保運営の責任主体となり、各市町村と国保の運営を担うことにより安定的な運営を推進するもの。より効率的な事業運営を確保する観点から都道府県内において統一的な方針の下に事業運営を行い、事務の効率化を推進するためと捉えている。

一般的な意見としては、広域化により医療費支払の急激な変動リスクの抑制や、高度な治療を受けた場合における小規模保険者の負担軽減などの利点が考えられており、結果として加入者への経済的な負担軽減に及ぶことが想定されている。

(4)都道府県は保険料の平準化を目的として、都道府県内の医療費を推計し、保険給付費に充てるための事業費を各市

町村から納付させる方法が挙げられている。また、施行において、現在の保険料率から急激な増加が求められる自治体に対しては、激変緩和措置を講ずるべきとの意見も提起されている。

【金木】所得100万円以下の世帯が国保加入者の半分以上という中で、現在の収納状況を、どう評価しているのか。

【財務課長】現年度分では毎年徴収率アップで大変いい状況だが、中には所得の低い方もおり、7割、5割、2割といった軽減措置を行っている。

【金木】医療費の増加を抑えようと独自に取り組んできた対策や成果が、広域化で不利にはならないか。

【福祉課長】町の取り組み自体にどの程度影響が出るかは、まだ把握していない。

【金木】上川管内東川町では今年4月から(町立診療所での)75歳以上の高齢者の外来負担分無料化という、医療費や介護の費用を抑えようとの大きな決断をした。今後の広域化や医療費の削減への決意を聞きたい。

【町長】財務課も交えて、担当課と検討してみたい。

# 総務産業常任委員会

(4月21日開催)

## ◆鳥獣被害の状況と対策

平成28年度から3カ年の計画として策定された「羽幌町鳥獣被害防止計画」にも基づいて、エゾシカやアライグマ、アザラシ、トドなどによる被害の状況や対策などの説明を受けた。

《主な質疑》

【質問】エゾシカ等の侵入防止柵も設置してから6、7年が経過し、劣化もみられる。

【回答】実態に合わせて計画変更もありうる。補助金が関係することもあり、次年度に向けて検討したい。

【質問】アライグマの殺処分方法について、電気ショックなどの方法も検討してみてもどうか。

【回答】安楽死での殺処分方法として、現在はガスが用いられているもので、電気ショックがどうなのかは検討の余地がある。

【質問】エゾシカ捕獲後の肉の利活用についての考えはあるのか。

【回答】今のところ考えてはいない。他の地域から問い合わせがあった程度であり、今後は対応の模索も検討したい。

## ◆港湾関連施設の視察

今年2月に行われた北るもい漁協との懇談で話し合われた、福寿川河口、フェリーふ頭岸壁、船揚場斜路設置予定地、砂防柵などの状況を、漁協関係者の案内で見て回った。



福寿川河口を視察

## ◆除排雪事業の視察

(5月17日開催) 稚内市

稚内市における除排雪事業について、市で作成している

「雪対策基本計画」の概要、除排雪体制と予算、除雪弱者対策や市民ニーズの把握、国道・道路と接する地点での連携や関係機関との協議など、市担当者から説明を受け、質疑を行った。



稚内市を視察

「基本計画」は「安心とやさしさに配慮した冬期生活環境を目指して」を基本理念に、冬期道路交通の円滑化と安全性の確保、パートナーシップによる冬期生活環境の確保、自然環境にやさしい雪対策などを基本方針としている。

市の除排雪事業費は年間7億8千万円、市内・郡部を4地区に分け、それぞれ委託事業者を入札によって決め、10月11日には全業者を集めての打ち合わせや安全大会が行われている。また、町内会役員

と事業者が参加しての除雪説明会も開催されている。

(5月23日開催)

## ◆除排雪業務

平成27年度における除排雪事業の結果、次年度に向けた課題などの説明を受けた。

除雪延長は、車道113・9km、歩道15・9kmの、合わせて129・8km。市街と原野地区は羽幌町道路環境事業組合に、離島地区は従来からの業者に委託している。車道、歩道とも、概ね10cmの降雪があった場合に除雪作業を行い、除雪の作業目標の達成が困難となった場合に排雪を行った。町全体の、27年度の除排雪委託料は1億929万円、稼働時間は9196時間だった。

《主な質疑》

【質問】稚内市では「圧雪厚」の基準も設けていたが、当町でも検討してはどうか。

【回答】町民の皆さんの生活に関わることであり、技術吏員とも相談しながら検討していきたい。

【質問】除雪車両による玄関前の雪残しを減らす対策を、何か考えているのか。

【回答】雪が横にもれてい

ない工夫をするのに1基あたり800万円かかるというところで、難しい。今の機械で可能な範囲で対応したい。

(6月13日開催)

## ◆焼尻めん羊事業

外国産めん羊の導入について、副町長、担当課から説明を受けた。

現在、東京の野澤組がニュージーランドから羊の輸入を計画しており、購入希望があれば可能であることが北海道東京事務所から照会があった。町では、既存の種畜や母羊と比較して、全く新しい血となるため、近親交配等の解消が期待され、今後の生産や種畜に相当寄与するものと考え、オス2頭、メス3頭を指定管理料に追加計上して導入することとした。

《主な質疑》

【質問】多額な予算がかかっているめん羊牧場の計画そのものをしっかりと検討すべきではないか。

【回答】このままではギリ貧状態であり、新しい血を入れて運営を安定させたのちに、今後の飼養頭数や施設の整備計画に反映させていきたい。

# 文教厚生常任委員会

(4月26日開催)

## ◆羽幌町し尿前処理施設

下水道前処理施設の視察を実施し、施設内において処理システムの状況や施設概要を担当から説明を受けた後、収集運搬の流れや収集料金の徴収、水洗化率等(羽幌62・7%・苫前48・8%)について担当から説明を受けた。

《主な質疑》

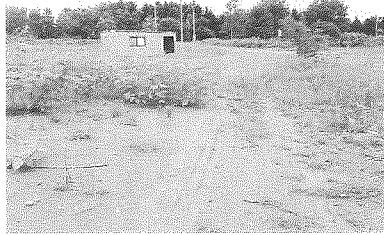
【質問】水洗化率向上に向けて今後の取り組みと故障や破損した場合の経費負担は。

【回答】現在の水洗化率は、羽幌町・苫前町併せて40・6%となっている。今後も水洗便所の改造補助金制度を活用して、未接続の世帯について積極的に個別訪問してお願いする。

経費負担では、運営費は、3町村の搬入量相当の負担とし、大規模補修などは、国の補助金活用や3町村でその都度協議をして負担。

## ◆羽業廃棄物埋立処理場の現状

超過分の産業廃棄物処理について、当初の事業計画を一部変更し、平成30年7月から工事着手、埋立開始を平成31年4月、埋立完了を平成34年3月の3年間で、事業終了は平成36年度、総事業費約5億8800万円で今後進めて行く考えであると担当から説明を受けた。



産廃処理場

《主な質疑》

【質問】当初計画では、処理する期間は5年間であったが今回3年間で処理することになった根拠は。

【回答】当初は、超過分以外の新しい産廃物も同時に受け

入れる予定であったが、受け入れ量等の内容から判断し、経費等が逆に増大することが予想され、町の負担がより多くなることから3年間とした。

【質問】今後の事業主体はどこが中心となつて行うのか。

【回答】今までは、羽幌産廃処理協同組合が主体となつて事業を進めて来たが、今回の計画変更で超過分だけの処理となつたことから、町の責任で事業完了まで後始末をする。

## ◆生ゴミ(3リットル)サイズの導入決定

平成14年11月からごみの有料化が実施されてきた。生ゴミ袋については、現在6リットル・12リットルがある。利用頻度や使い勝手があまり良くないとの意見があり、利便性を考えて平成28年9月1日から、3リットル(10枚1組250円)を新しく導入することにした。

【意見】3リットルの生ゴミ袋は、住民の要望も多く、高齢者や少人数世帯など大変便利になると思う。



3リットルの袋

(4月27日開催)

## ◆学校給食センター運営状況・羽幌小学校備品

学校給食センターを視察し、施設の概要・運営状況と小学校工事中における換気口からの粉じん混入問題、羽幌小学校備品整理について担当から説明を受けた。

《主な質疑》

【質問】給食費の未納問題はどのように対処しているか。

【回答】未納が発生した時点で督促状を出し、その後約3ヶ月以上続いた方へは、学校の教頭先生から直接電話でお願いをしている。

【質問】小学校工事で粉じんがセンター内を飛び交った対応は。

【回答】拭き掃除と消毒を徹底し、食器と調理器具は消毒保管庫があり、衛生面は問題ない。

【質問】羽幌小学校新校舎で購入する備品の予算計上と必要となつた備品整理は。

【回答】更新する備品予算はその都度精査して予算化する。不必要備品は仕分けし、処理費用の軽減から町民へ周知をして出来る範囲で無償提供を考えている。

(5月12日開催)

## ◆ミックス処理の現状

4月1日からミックス処理場の供用が開始され1カ月が経過し、1日3台から4台を受入れ後、希釈して浄化センターへ流入させ稼働していたが、従来下水道の流入しかなところにも多くの濃いし尿が流入したことによりセンターの処理が想像以上に厳しくなっている状況であり、今後としては、汚泥処理の能力を上げて、日々脱水処理を行って対処していくとの報告を副町長から受けた。

《主な質疑》

【質問】原因は、受け入れ量に対し稼働がうまくいっていないということか。

【回答】処理能力の負担が急に増えたことも1つの要因ではあるがまだ判断はつかない。

【質問】第一は、町民の生活、産業等に影響が出ないように手を尽くすことが優先でないか。

【回答】当然、町民・産業等に影響が出ないように万全を期する。

医療問題調査  
研究特別委員会

(3月15日開催)

◆道立羽幌病院

担当課より、平成28年度の道立羽幌病院の医療体制についての説明を受けた。

(5月12日開催)

◆羽幌町の医療体制

担当課より医師配置状況と医師及び看護師等に対する支援資金の貸付状況についての説明を受けた。医師配置状況については、常勤医師8名、非常勤医師10名。また、天売診療所、焼尻診療所は常勤医師各1名となっている。その他、地域包括ケア病床の進捗状況、医師研究資金等、助産師・看護師修学資金の貸付状況の説明を受けた。



道立羽幌病院

公共施設マネジメント  
調査研究特別委員会

(4月22日開催)

◆羽幌町公共施設マネジメント計画(素案)

担当課より、これまでの委員会での質疑した市街地区、離島地区の結果を踏まえ、その後精査し、一部事務組合も含めて作られた素案についての説明を受けた。

《主な質疑》

【質問】消防庁舎は素案では役場庁舎の建て替えと合わせて複合となっているが、実際に計画としてあるのか、それとも検討していきたいということか。

【回答】複合化については、あくまでも検討案ということである。具体的な作業に入っている状態ではない。

【質問】目標耐用年数の木造40年となっているが、メンテナンス等をしつかり加えれば50年、60年と使用可能ではないか。

【回答】建物の診断をして臨機応変に、使用可能なものは維持して、最低40年ということとで考えている。

第3回  
臨時会

(3月29日開催)

■一般会計補正予算

【地方創生加速化交付金関係】

1. 町立天売高等学校活性化による移住・定住促進一元化事業(地域魅力PR等)

- ・地域魅力PR事業
- ・アイランダー出展事業
- ・離島人材研修事業

2. 西蝦夷(えぞ)300年

留萌振興局などとの連携により広域観光の推進体制を整備し、外国人観光客を主要ターゲットに、観光資源の掘り起しや広域周遊ルートの形成

多言語による情報発信を実施するとともに、離島観光振興の強化を図る。

- ・広域連携観光振興事業
- ・羽幌町観光協会事業補助
- ・離島観光振興促進プロジェクト実行委員会事業補助

1542万円

3. 町立天売高等学校活性化事業(設備整備)

- ・蒸気ボイラー・製缶機設置
- ・関係電気工事等1150万円

4. 町立天売高等学校活性化事業  
・学校訪問、ポスター・パンフレット作成等

1606万円

第4回  
臨時会

(5月12日開催)

◆承認7件

改正された条例4件。一般会計補正予算1件が審議された。

○改正された条例

■羽幌町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正

■羽幌町税条例の一部を改正  
町民税、軽自動車税、固定資産税、町たばこ税の改正・創設・延長。

■羽幌町国民健康保険税条例の一部を改正

低所得者に対する保険税軽減の拡充改正。

■羽幌町都市計画税条例の一部を改正

わがまち特例の期限延長。

○補正予算

■羽幌町後期高齢者医療特別会計

■一般会計補正予算  
109万円  
500万円

◆議案2件  
改正された条例1件。一般会計補正予算1件が審議された。

■廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正

9月より生ゴミ指定ゴミ袋に3リットルを追加するため。

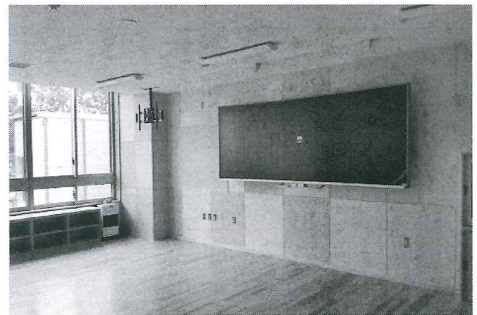
■一般会計補正予算

2536万円

【主な補正内容】

- ・介護サービス基盤整備事業補助金 256万円
- ・廃棄物処理業務委託料 264万円
- ・校用器具購入費 2016万円

※廃棄物処理業務委託料、校用器具購入費は小学校建替による、備品の廃棄及び購入によるもの。



小学校新校舎の教室